

背板からつくる木の枕

岐阜県立森林文化アカデミー 森と木のエンジニア科林産業コース 山口 裕陸

背景

寝ることが大好きな自分は、アカデミーらしく睡眠に関する研究がしたい



<https://iori.ocnk.net/product/253>

←販売されている木の枕

背板に似た形の材が→



背板を利用して木の枕を作り、その可能性を探りたい！

目的

①木の枕の**実用性**

②木の枕が**新たな端材利用方法**となるか

この二点から木の枕を評価した

①木の枕の実用性

- ・背板から木の枕作製
- ・完成品を自ら使用



背板を枕の大きさにカット



材の表面をかねで削り、形を整えて完成、自ら使用



実用性確認

②木の枕が新たな端材利用方法となるか

- ・木の枕作製ワークショップ開催
- ・ワークショップアンケート

ワークショップ



↑背板の説明や木の枕作製手順を説明したのち、実際につくってもらう



←表面を削るだけでなく、頭を当てる部分に合わせくぼみを作ってもらった

アンケート用紙

年齢 歳				
背板や手順の説明は理解できましたか				
1	2	3	4	5
—数字が大きいほどです				
満足度				
1	2	3	4	5
このワークショップに参加した理由				
木の枕を触ってみて感じたこと				
このワークショップに参加したらいくらになりますか				
感想・意見等				

アンケート

アンケート結果

- ・ワークショップも木の枕も好評だった
- ・ワークショップに値段をつけてもらった
→500～3000円程度

木の枕として端材利用可能

まとめ

①木の枕の実用性

- ・頭の位置にくぼみを作る、タオルを敷く等で木の枕の扱いを調整可能
 - ・木の香りや見た目等木の枕特有のメリットあり
- 実用性ありと評価**

②木の枕が新たな端材利用方法となるか

- ・アンケートの結果、ワークショップも木の枕も好評
 - ・アンケートの結果、木の枕と同じ量の木材を使用した際、木材チップの値段より収益が多い見込み
- 新しい端材利用方法となると評価**